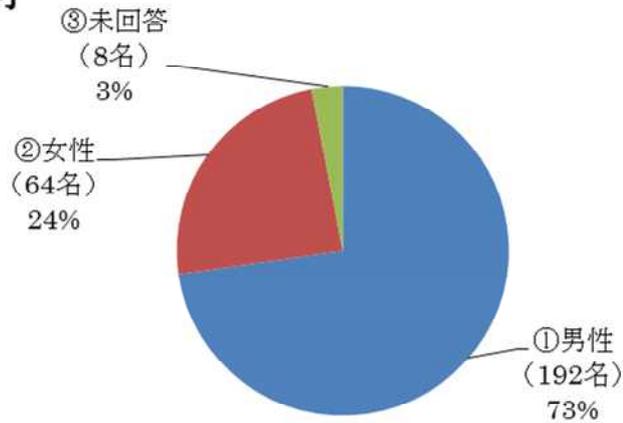


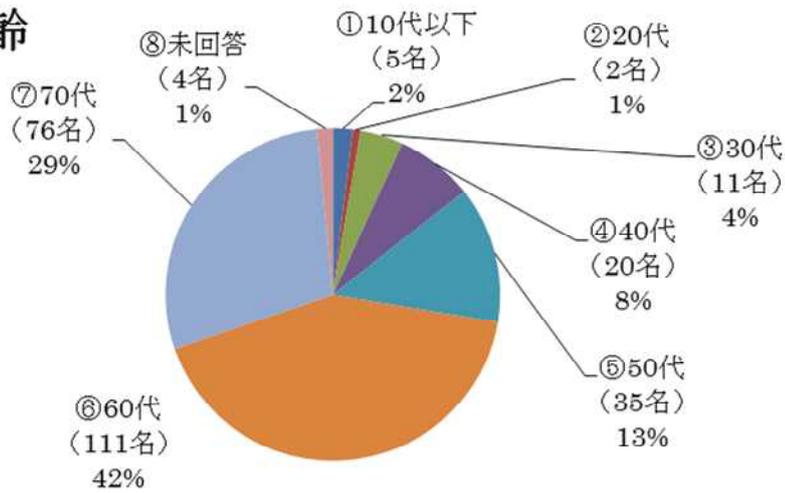
平成25年度原子力防災訓練(11/10)アンケート集計結果

回答総数：264名

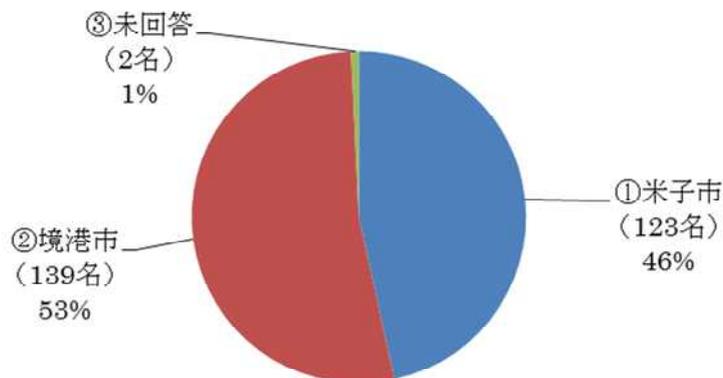
Q1 性別



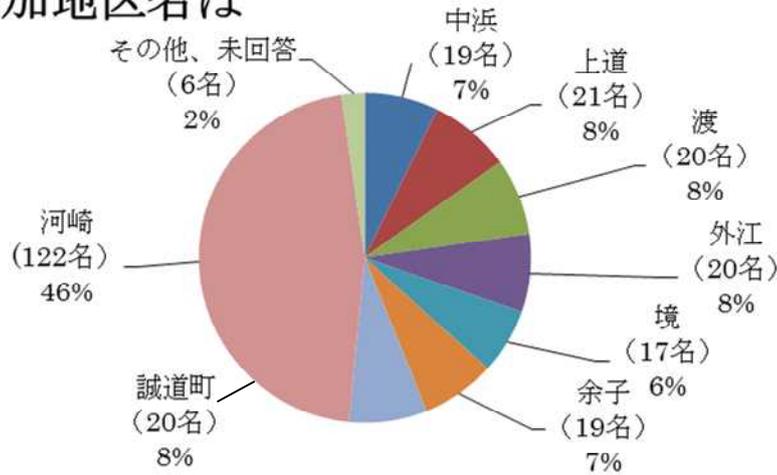
Q2 年齢



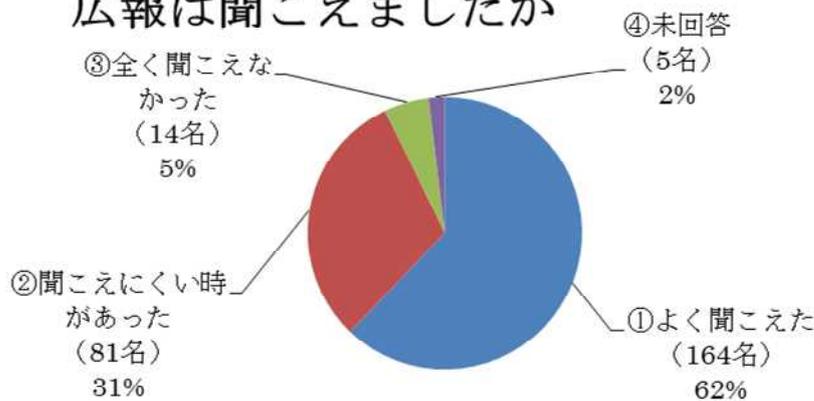
Q3 お住まいは



Q 4 参加地区名は



Q 5 今回の訓練で防災無線等による 広報は聞こえましたか



回答1の理由

- ・ わからない
- ・ 家の外で聞いた。家の中では聞こえない
- ・ 屋外に居た
- ・ 近いから
- ・ 8時に放送があるのがわかっていたので窓を開けた
- ・ 準備をしていたため
- ・ 但し、風があるときは聞こえにくい
- ・ 声ははっきりしていたので
- ・ 外に居たから

回答2の理由

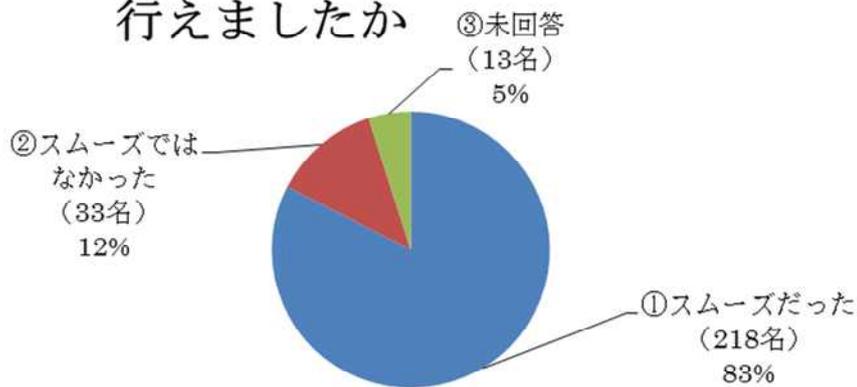
- ・ 雨、風が強い場合、音量がわれて届かない
- ・ 防災行政無線は家の中ではよく聞こえない
- ・ 声がわれる、声がこもる
- ・ 反響して聞き取りにくい
- ・ エコーがかかって聞きづらい
- ・ 反響がある (エコー)

- ・ 音の反響
- ・ 天候の関係か、外に出ても内容が聞き取れなかった
- ・ 風向きによって聞こえたり聞こえにくかったり、声が割れている
- ・ 声が二重三重になり聞こえにくい
- ・ 平常より防災無線が聞こえにくい
- ・ 外に出ないと聞こえない
- ・ 音が響いてよく聞き取れなかった
- ・ 声が小さく、遠くから何か話している感じで、内容がわかりにくかった。
- ・ 不明
- ・ スピーカーの能力 or 向きが悪い
- ・ 設置場所に問題あり
- ・ 事前に知っていたので内容はわかっていた
- ・ ボリュームなのか、風向きなのか？拡声器の拠点が少ないのでは
- ・ 窓を開けて聞いた
- ・ 距離が離れているから
- ・ 事前に知っていたから注意したが、知らなければ聞き逃したかも
- ・ 真誠会
- ・ スピーカー施設から自宅が遠方の為
- ・ 場所によって
- ・ 防災無線の設備が不備
- ・ 通常聞こえない。訓練以前の防災連絡がない状態。防災無線の改善が訓練より先です。
- ・ 防災無線の拡声器の位置が離れている為
- ・ 少しわからないところがあった
- ・ 防災無線の整備をもう少しして欲しい
- ・ 風向き

回答3の理由

- ・ 平素より聞こえにくい
- ・ わかりません
- ・ いつ？家の中にいたため？
- ・ 福祉施設として参加。館内のため無線は聞こえなかった（真誠会）
- ・ 防災放送設備がないため、日頃から聞いたことがない
- ・ 施設内にいる為（真誠会）
- ・ 建物内にいる為（真誠会）
- ・ 訓練中耳栓をしていた
- ・ 室内で傾注していなかった
- ・ 放送設備が悪いと思われる
- ・ 家の中では聞こえない

Q 6 今回の避難の行動はスムーズに行えましたか



回答1の理由

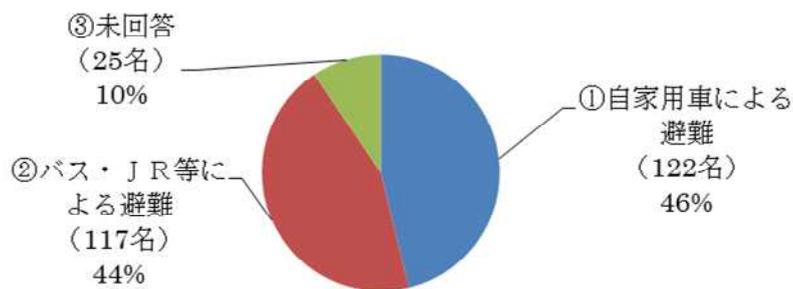
- ・ 人数が少なかったから
- ・ 事前に周知していたから
- ・ 家から渡公民館～余子駅まで
- ・ 家から集会所までは。バス等での待機が長い
- ・ 訓練と事前にわかっていたから
- ・ 事前に聞いていたから
- ・ 準備していたため（意識が高かった）
- ・ 限定された人数が適正であった
- ・ 十分な計画により
- ・ マニュアルがあった
- ・ 事前準備が良かった
- ・ しかし→待ち時間多し
- ・ 準備ができているから
- ・ 事前連絡で心構えができていた

回答2の理由

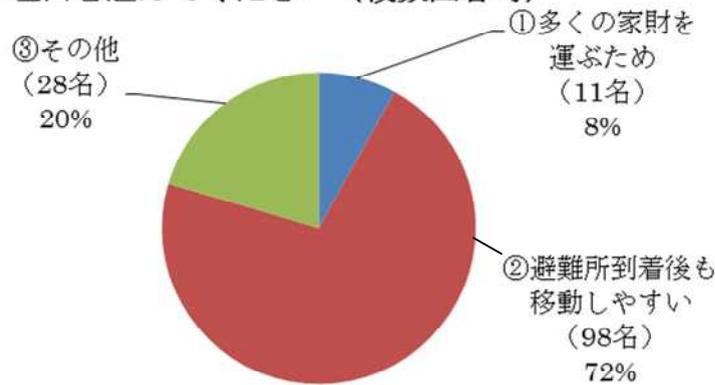
- ・ 待ち時間が長かった
- ・ 待ち時間がやたらに多かった
- ・ 待ち時間が多すぎた
- ・ 時間待ちが多すぎるのでは
- ・ 待ち時間が長かった
- ・ 係員（県と市）は多かったが効率的にリードしていない
- ・ 時間待ちが長すぎた
- ・ 待つのが長い
- ・ JRでの停車時間が長かった。到着してからの待ち時間が長かった。
- ・ 消防学校へ到着後、雨も降り永らく待った
- ・ 待ち時間が多かった
- ・ 待ち時間が永い
- ・ 避難場所での待機時間があったかと思う
- ・ 研修会までが避難訓練だとしたらスムーズではなかった。研修会場での待ち時間が長かった。

- ・ 待ち時間が長い
- ・ 待機時間が長かった
- ・ 集合時間に集まらなかった。集会所に集合しなくても直に小学校に行くほうが良い
- ・ 河崎小学校まではスムーズだった。消防学校での対応がマズイ
- ・ 待機時間が長すぎる
- ・ 出発前から時間がかかりすぎだ
- ・ サイレンが聞こえないため1家族が遅れた
- ・ 待ち時間が長い
- ・ 各指示が一貫性がなかった
- ・ 待つ時間が長かった
- ・ 広報の聞こえにくい人がいた
- ・ 準備不足（消防学校）

Q7 原子力災害時に避難する際に、自家用車による避難と、
 県等が手配したバス・JR等（公共交通機関）による避難とで
 は、
 どちらを選択されますか



Q 8 自家用車による避難が良いと思う理由について、当てはまると思う理由を選んでください（複数回答可）



回答1の理由

- ・ 但し、渋滞の恐れあり

回答1・2の理由

- ・ 但し、駐車場の確保が必要

回答2・3の理由

- ・ 即避難するのに、バス等を待っていてもいつ来るかあてにならない
- ・ 車だとテレビ・ラジオも聞けるし、冷暖房も利用できる
- ・ 災害時には公共交通機関が機能しないと思う
- ・ 実際に事故が起こった場合、バスが利用できるまでには、時間がかかりすぎると思うので

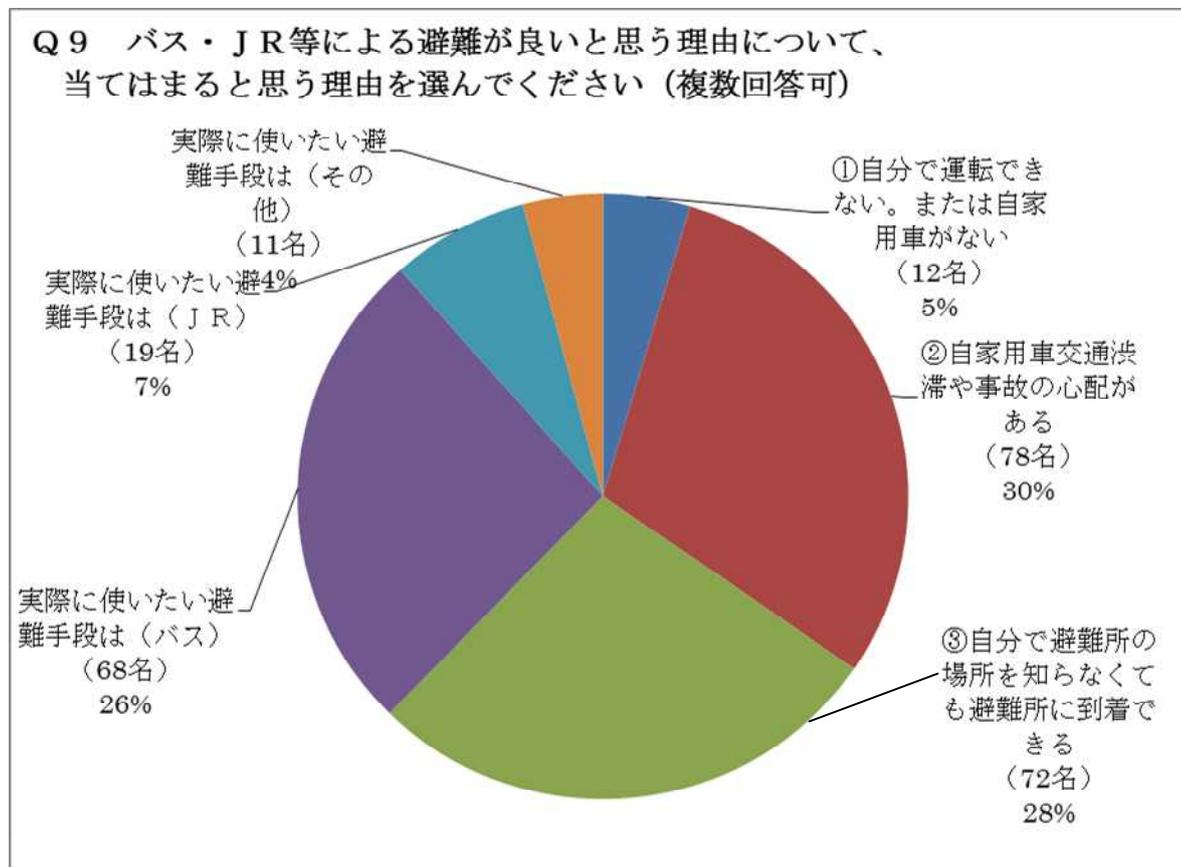
回答3の理由

- ・ 高齢の家族がいる
- ・ ペットがいるため
- ・ 避難経路の選択が自由
- ・ 待ち時間・自由度
- ・ 家族と行動できる
- ・ 県や市の避難先は不安がある。風・天気は西から東へ流れる。鳥取東部はいずれ汚染されると思う。
- ・ 家族に体が不自由なものがおり公共交通で長時間移動することは困難
- ・ 高齢者が家族にいるので同行できる
- ・ JR では時間がかかりすぎる
- ・ 東部への避難は偏西風とともに歩む気がする。（放射物質と同伴している）
- ・ 自由に動ける
- ・ 直接避難する
- ・ 県外の子供のところへ
- ・ 岡山県まで脱出したい
- ・ 母（年寄り）がいるため
- ・ スムーズに歩行できない年寄りがいるので
- ・ 待機時間が心配
- ・ 子どもが小さいので
- ・ 高齢者がいる為

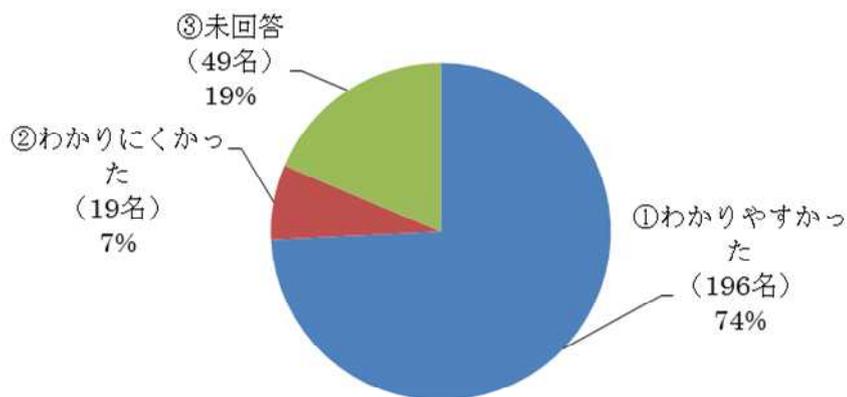
- ・ 自分の意思で行動できる
- ・ 短時間で避難できそうであるから
- ・ 早い

回答 1~3 の理由

- ・ 家内が足が悪いため



Q10 本日の原子力防災研修の内容について



- ・ ただし訓練と研修は別に実施されたし
- ・ 原子力発電の正しい知識と安全対策については研修を受けたことがあるが、今回の放射線の基礎知識は「放射線とは何ぞや」と知識を吸収することができました。
- ・ 放射線について初めて知ることがたくさんありました
- ・ 県や市の職員は多いが、立っている時間が多く、効率よく住民をさばいていない。
- ・ 消防学校での待ち時間が長く少し退屈した
- ・ 講師の講話が具体的に説明され非常に参考になった
- ・ たびたび説明が入るので
- ・ 初めてなので
- ・ 先生の話し方がとても良かった
- ・ スクリーンに写しての説明でありわかりやすかった
- ・ 話が楽しい
- ・ ちょっと面白かったです
- ・ 内容はむずかしいことですが、話し方上手、身近に感じる言い方
- ・ 基本的なことがわかってよかった
- ・ 身近な例であった
- ・ 途中から受けたため
- ・ なじまない。新規の訓練だから
- ・ 説明がうまい
- ・ 指示者がいる
- ・ 基本的な内容で理解しやすかった
- ・ 基礎的な部分は理解できましたが、実際に原発事故が発生したときの対応の部分が少なくて物足りなかった
- ・ 時間が少ないため
- ・ 放送不備
- ・ 内容が難しかった
- ・ 時間がなかった
- ・ 説明は簡単におにぎりにたとえて話してくださっても受ける側に知識がないので
- ・ 何の目的があって

Q11 その他 ご意見

- ・ 放射線は怖くないとの基本的考えと思った。そうではないという話が聞きたいとも思った。
- ・ 訓練は行政、自治会、医療機関等々各分野の訓練、そして住民の訓練、いろいろウエイトの相違はあろうかと思いますが、それぞれの立場で参加できる訓練が必要かと思います。
- ・ 今回の原子力防災に係る住民避難訓練を多くの住民に体験させたいと思います。ぜひ、毎年実施してほしい。
- ・ 移動はスムーズにできたけれど、待機時間が長くもう少し住民のことを考えて早くできないものか！
- ・ 計画通りでしょうが、待ち時間が多過ぎです。
- ・ バス車中で40分、体育館で40分
- ・ 時間待ちが非常に多く訓練と思えなかった。
- ・ スケジュール通りにはいかない事
- ・ 待機時間が長かったこと
- ・ 時間待ちが非常に多く訓練と思えなかった。
- ・ スケジュール通りにはいかない事
- ・ 待機時間が長かったこと
- ・ 災害時の避難所生活はこんな感じかな・・・・・・・・
- ・ スクリーニングについて 弱い放射能物質を付けて実際にチェックできるか確認されたい
- ・ 避難についてはもっと詳細に検討すべきだと思います。特に要援護者に対する避難を考えて欲しい。
- ・ 小・中・高校生を対象とした避難訓練を実施されたい
- ・ 待機する時間が多かった。行動がスムーズにできるよう訓練をお願いしたい。広域避難は安全にスムーズにできるようにして欲しい。又、受け入れ先の準備訓練はされているのでしょうか
- ・ 訓練の節目毎に時間がかかりすぎ。HIU の林先生の講義はよかった。機会があればさらに詳しく講義を受けたいと思う。
- ・ 若い人を対象にすべき。小・中・高を重点的に訓練し若い力で災害に対応するように！
- ・ 実際にできるか不安です！
- ・ 放射線の基礎知識の講習が参考になった。放射線のおよそ判り易い講義でよかった。
- ・ もう少し都合よく出来ないでしょうか？
- ・ 県・市の職員が多数係りをされ重要な訓練と改めて認識しました
- ・ 県・市の職員を見ていると、ニコニコ笑ってただ立っている人が多すぎる。
- ・ 人数が少なく、いざというときはどうか
- ・ 大混乱になると思うので色々な避難方法を考えてほしい
- ・ 現実に起こった時に対応できるのか疑問である。
- ・ 交通網の整備が一番だと思う。一時的に避難できる。
- ・ 待ち時間が長く、もう少しスムーズに出来ないか？
- ・ 緊張感がなさ過ぎる
- ・ 時間待機が長かったと思います。これも訓練のうちである。内容はよかった。
- ・ 原発なくなれば。ほかの電気を考える時と思います
- ・ 実際の避難ということになると、地域で身体の悪い人などどうするかも含めあらかじめ体制を決めておかないと避難できない。津波の影響もあり、避難経路がどうなるか、船は可能か etc。課題は山ほどあると思う。
- ・ 船での移動は効果的ではあるが、現地までの集合時間、乗船人数に問題があるのではないか。バス、列車は持ち物に限界がある。

- ・ 待機時間が長い
- ・ 放射線についての講習会をもう少し聞きたかった
- ・ 定期的に訓練をしていかないと意味がないように思いました。原子力防災学習がわかりやすく面白かったです
- ・ 引き続き段階的訓練計画を要望
- ・ 今回は自宅から避難でしたが災害はどこで、いつおこるかかわからないので、[Q7]の質問には答えられない。選択が難しいです。
- ・ 放射線の話は非常に興味を持ちました
- ・ 新しい分野の知識が広がった
- ・ 各関係者の皆様方に大変なご苦労があるので大変だと思い感謝にたえません。誠にありがとうございました。
- ・ やはり原発は怖いと思いました。スムーズに避難するには何回も訓練をしたほうが良いと思いました。参考になりました
- ・ 今後訓練に参加できない住民の落としこみ（意識づけを）どうするのが重要ではないでしょうか。
- ・ スケジュールの間の待ち時間を利用して防災意識を高める為に使ったら良いと思います
- ・ 参考になりました
- ・ 消防学校での対応がスムーズではない。体が不自由なのに靴を脱ぐのは無理である。
- ・ 実際に起こった時、電気等がない状態で放送等が出来るか、交通はスムーズに動けるか等疑問が残ります。
- ・ 事故がないのがベターですが、もしもの時のため訓練に参加したほうが良いと思います。初めての参加でしたが大変良かったと思う。皆様方が親切、丁寧でした。
- ・ 中国電力の協力は？
- ・ 講習会の時間をもう少し多くしていただきたい
- ・ 大変短時間ではありましたが、簡単にでも放射線、放射能とは・・・と勉強になりました
- ・ 放射線はいつでもどこでも浴びている。人間も出している。放射線は何種類もある。
- ・ 本当はこういった危険のない世界が望ましいと思った。原子力について、放射線についてもっと小さいころから学習する必要があると思う。今の生活があるのは原子力があるから。でもとても扱いが大変なもの。脱原発は理想だが、まず一人ひとりの生活を見直さないと推進できないと感じる。
- ・ 移動が多すぎる
- ・ 自宅が30km圏内かどうか知る方法が知りたい
- ・ Q7は愚問である。実際の時はやはり自家用車をつかうことになるが、公共交通機関が周知されていればバス・JRを使う。
- ・ 今回の防災訓練は有意義だったがやはり島根原発を廃炉にし原発のない国（県）になることを切望する。そのような動きを県・市を率先してほしい
- ・ 二人とも足が悪いので自家用車を使う
- ・ 本当にあったときの不安を感じました
- ・ もっと現実的な訓練にしてください
- ・ 集合場所が遠い
- ・ 防災無線の改善を先にして欲しい。訓練より優先と考えます。
- ・ 県・市だけでなく各役員の名前もプレートに書いて欲しかった
- ・ 訓練をしないでも良い社会の実現をして欲しい。
- ・ 大変だと思った
- ・ 避難について左側通行してもいいのか

- ・ 本日は市・県の職員も右側通行していた
- ・ 知らないことが多く、正しい知識を知ることができてよかった
- ・ 子供はわかりやすい資料、アニメなどで説明して欲しい。
- ・ 希望者だけではなく避難区域の方全員が参加できるようにすべきではないですか？
- ・ 実際の時にどうなるのか不安
- ・ 講師の方の説明時間をもう少し取ってもらいたかったです
- ・ 放射線の基礎知識の講義はもっと時間をかけて聞きたかった。短時間で早口でしたがわかりやすく、逆に興味が出た。全体的に時間が押していることについては、訓練でも予定通りいかないと思ったし、有事ではもっと大変だなと思います。スタッフの方も慣れない様子でお疲れ様でした
- ・ 女性が多いのでトイレが少ない
- ・ 実際にはどうだろうか

アンケートに御協力ください

□本日は、原子力防災訓練に御参加をいただき、ありがとうございました。

□このアンケートは、県や市が、住民のみなさんの安全を守るための体制づくりを進めていくためのものですので、皆様の率直な御意見、御感想をいただければ幸いです。なお、このアンケートの内容については、訓練の検証目的以外には使用しません。

該当する番号もしくは項目に○をつけてください。

Q 1 性別 男性 ・ 女性

Q 2 年齢 10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代以上

Q 3 お住まいは 米子市 ・ 境港市

Q 4 参加地区名は（ ）

Q 5 今回の訓練で防災無線等による広報は聞こえましたか

1 よく聞こえた

2 聞こえにくい時があった〔内容がわからなかった〕

3 全く聞こえなかった

(その理由は)

Q 6 今回の避難の行動はスムーズに行えましたか

1 スムーズだった

2 スムーズではなかった

(その理由は)

Q 7 原子力災害時に避難する際に、自家用車による避難と、県等が手配したバス・JR等（公共交通機関）による避難とでは、どちらを選択されますか。

1 自家用車による避難 → 裏面のQ8についてお答えください。

2 バス・JR等による避難 → 裏面のQ9についてお答えください。

鳥取県広域住民避難計画では「自家用車による避難をするときは、各家庭毎に避難する。」としています。今回の訓練では、JRや船舶を使用しましたが、災害の状況によっては使用できる手段が限られます。

裏面に続きます

【Q7で「自家用車による避難」を選んだ方におたずねします。】

Q8 自家用車による避難が良いと思う理由について、当てはまると思う理由を選んでください。(複数回答可)

- 1 多くの家財を運ぶため
- 2 避難所到着後も移動しやすい。
- 3 その他 ()

【Q7で「バス・JR等による避難」を選んだ方におたずねします。】

Q9 バス・JR等による避難が良いと思う理由について、当てはまると思う理由を選んでください。(複数回答可)

- 1 自分で運転できない。または自家用車がない。
- 2 自家用車は交通渋滞や事故の心配がある。
- 3 自分で避難所の場所を知らなくても避難所に到着できる。
- 4 あなたが実際に使いたい避難手段は
ア.バス イ. JR ウ. その他 ()

Q10 本日の原子力防災研修の内容について

- 1 わかりやすかった
- 2 わかりにくかった

(その理由は)

Q11 その他、今回の訓練に参加してお気づきの点等がございましたら自由にご記入ください。

～御協力ありがとうございました～
鳥取県・米子市・境港市